

ネイティブアルコール脱水素酵素

Cat. No. NATE-0034

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アルコール脱水素酵素 (ADH) は、多くの生物に存在する脱水素酵素のグループで、アルコールとアルデヒドまたはケトンとの相互交換を促進し、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD⁺ から NADH への還元) を行います。ヒトや多くの他の動物では、毒性のあるアルコールを分解する役割を果たし、さまざまな代謝物の生合成中に有用なアルデヒド、ケトン、またはアルコール基の生成にも関与します。酵母、植物、および多くの細菌では、一部のアルコール脱水素酵素が発酵の一部として逆反応を触媒し、NAD⁺ の一定供給を確保します。

別名 アルデヒド還元酵素; ADH; アルコール脱水素酵素 (NAD); 脂肪族アルコール脱水素酵素; エタノール脱水素酵素; NAD依存性アルコール脱水素酵素; NAD特異的芳香族アルコール脱水素酵素; NADH-アルコール脱水素酵素; NADH-アルデヒド脱水素酵素; 一次アルコール脱水素酵素; 酵母アルコール脱水素酵素; EC 1.1.1.1

製品情報

EC番号 EC 1.1.1.1

CAS登録番号 9031-72-5

最適pH pH範囲は約8-9で、最適はpH 8.0の周辺です。

熱安定性 酵素の活性と時間の関係（異なる温度において） - （空の円: 80°C; 塞がれた円: 85°C; 空の四角: 94°C）

最適温度 酵素は比較的広い温度範囲（50-65°C）で活性があり、最適温度は約60°Cです。

単位定義 酵素活性の1単位 (U) は、340nmで10分間インキュベーションした後に測定された吸光度として定義されます（NAD⁺ がNADHになる）。単位 (U) は、放出された生成物のmmol/minとして定義されます。